

# 令和3年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における

## 北九州市立 門司 中学校の結果分析と今後の取組について

スポーツ庁による「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」について、令和3年6～7月に、2年生を対象として、「運動習慣等」についての調査を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

本結果は、学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にしていただきたいと思います。運動習慣は、学校のみでなく、家庭で運動と一緒に「する・みる・話す」ことが大切です。本校では、運動習慣の確立と授業の充実により、総合的に体力の向上を目指しています。ご家庭でも運動習慣の確立に向けた取組の充実をお願いします。

※ 本年度、本市においては「体力・運動能力」についての調査は実施していません。

### 1. 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の目的

- (1) 国が全国的な子供の体力の状況を把握・分析することにより、子供の体力の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 各教育委員会が自らの子供の体力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、子供の体力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各学校が各児童生徒の体力や運動習慣、生活習慣等を把握し、学校における体育・健康に関する指導などの改善に役立てる。

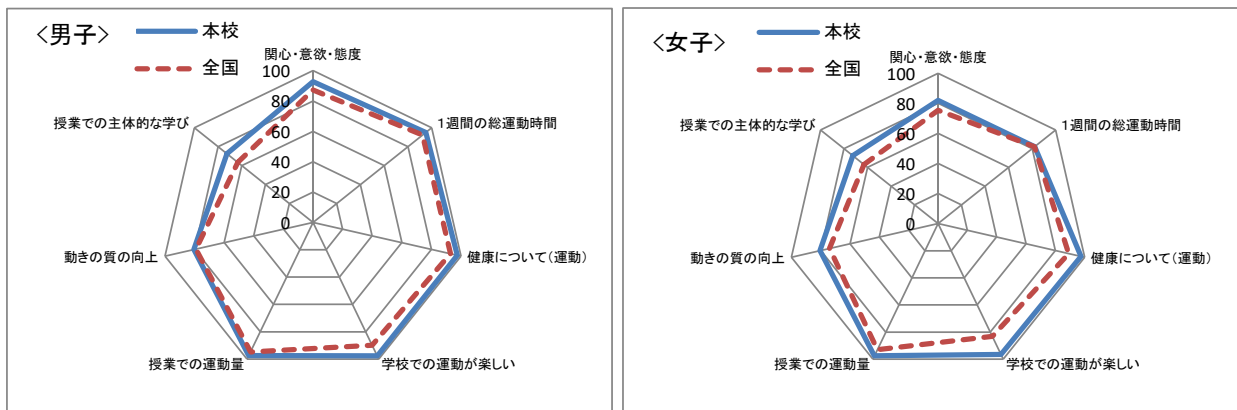
### 2. 本市における調査内容

- (1) 質問紙調査

運動習慣、生活習慣等に関する質問紙調査

### 3. 運動習慣や生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要

質問紙調査レーダーチャート



#### 質問紙調査の結果分析

授業での主体的な学びができていると感じている生徒が、全国平均に比べ特に多く、男女共に運動が好き、運動が楽しいなど感じている生徒の思う割合は高い傾向にある。また、授業中運動量も充分に確保できていると感じている生徒も多いことがわかる。  
 運動の質を高められていると感じる生徒が少ないことが課題として上げられる。

### 4. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

#### ① 教科(授業)に関する取組(全校で・学年で)

体育授業の中で練習計画などを作成させ、自分の課題に自分自身で解決に向かう道筋を立てさせることを取り入れていきたい。また、実技技能の向上するために、タブレット端末を今まで以上に使い自分自身のつまずきに気づかせる場面を多く持ちたい。

#### ② 運動習慣等に関する取組(1校1取組)

小学校に中学校の教師が出前授業に行き、中学校の体育授業の楽しさや運動をすることの大切さなどを小学校の低学年から伝えていことをしていきたい。また、保護者の方にも積極的に体育授業を参観できるような機会を作ることで、日常の運動習慣の育成につなげられるようにしたい。